

資料3

アンケートの集計結果

高等専門学校用共通教材の利用状況の調査

平成3年12月 放送教育開発センター

高専名 _____

学科名 _____

氏 名 _____

この調査では、あなた個人の意見でなく、学科（一般科目、一般教養科目あるいは一般科等を含む。以下学科と総称。）としての意見や状況をお伺いします。質問によっては、学科で相談の上ご回答下さって結構です。

（A Vの有無）

Q 1. あなたの学科には、多勢の学生がビデオ教材を見られる教室などがありますか。

（学科専用でなくても結構です。）

1. あ る
2. な い
3. わからない

件 数	1	2	3	無回答
254	247	6	0	1
(100)	(97.2)	(2.4)	(0.0)	(0.4)

（センター教材の知名度）

Q 2. 放送教育開発センター（以下「センター」）からは、高専向けにビデオ教材と印刷教材が出ています。あなたはこのことをご存じですか。

1. ビデオ。印刷両教材とも知っている。
2. ビデオ教材が出ていることは知っている。
3. 印刷教材が出ていることは知っている。
4. 両方とも知らない。

件 数	1	2	3	4	無回答
254	14	75	2	27	2
(100)	(58.3)	(29.5)	(0.8)	(10.6)	(0.8)

（ビデオ教材の配付）

Q 3. あなたの学科では、センターからビデオ教材が配付されていることをご存知ですか。

1. 知っている。
2. 知らない。

件 数	1	2	無回答
254	176	74	4
(100)	(69.3)	(29.1)	(1.6)

(周知方法)

Q 4. (以下Q 3で1の人に) (2の人はQ11へ)

あなたの学科では、配付されたビデオ教材の周知方法をどうしていますか。(○は、いくつでも)

1. 学科会議など会議の場で周知している。
2. 廊下等誰でも見られる所に教材名などを貼り出している。
3. 先生方に個別に周知している。
4. 事務室や会議室など室内の壁などに貼り出している。
5. 図書館や視聴覚関係教室などに貼り出している。
6. その他 (具体的に)

件 数	1	2	3	4	5	6	無回答
176	77	4	76	12	13	24	6
(100)	(43.8)	(2.3)	(43.2)	(6.8)	(7.4)	(13.8)	(3.4)

(管理)

Q 5. あなたの学科では、配付されたビデオ教材をどう管理していますか。(○はいくつでも)

1. 図書館や視聴覚関係教室などに納め、貸し出している。
2. 関係の先生の研究室に納め、貸し出している。
3. 専用の戸棚などに納め、貸し出している。
4. 担当の事務組織の室で保管し、貸し出している。
5. 倉庫に納め、貸し出している。
6. その他 ()

件 数	1	2	3	4	5	6	無回答
176	42	84	12	31	0	11	5
(100)	(23.9)	(53.4)	(6.8)	(17.6)	(0.0)	(6.3)	(2.8)

(授業利用)

Q 6. あなたの学科では、配付されたセンターのビデオ教材を授業で利用したことが一度でもありますか。(○は一つ)

1. ある。
2. ない。

件 数	1	2	無回答
176	97	79	0
(100)	(55.1)	(44.9)	(0.0)

S Q. (Q 6で2の人に)

授業で利用したことがない理由は主に何ですか。(○はいくつでも)

1. 授業の内容にあうものがないから。
2. 所在を知るのに手間がかかるなど、障害が多いから。
3. 事前の準備に時間がかかるから。
4. 学生の反応が今一つなので、使いがいがいいから。
5. 授業は先生の話や学生との質疑応答など直接の対応で進めたいから
6. その他 ()

件 数	1	2	3	4	5	6	無回答
79	47	5	8	4	15	17	3
(100)	(59.5)	(6.3)	(10.1)	(5.1)	(19.0)	(21.5)	(3.8)

次はQ11へ

(利用ビデオ教材名)

Q 7. (以下Q 6で1の人に)

授業で使ったビデオ教材の名前、本数と、およその利用件数を下に記入して下さい。

件 数	1 ~ 5 本 未 満	5 ~ 10 本 未 満	10 ~ 15 本 未 満	15 ~ 20 本 未 満	20 ~ 25 本 未 満	25 ~ 30 本 未 満	30 ~ 35 本 未 満	35 本 以 上	無 答
97	27	20	6	10	1	4	1	0	28
(100)	(27.8)	(20.6)	(6.2)	(10.3)	(1.0)	(4.1)	(1.0)	(0.0)	(28.9)

平 均 8.4本

実数合計 581本

Q 8. あなたの学科では、これらの教材のおよその利用程度はどんなものでしたか。(○は一つ)

1. ほぼそのシリーズの全巻を見た先生が多い。
2. シリーズの中の何巻かを見た先生が多い。
3. ある巻のほぼ全部を見た先生が多い。
4. ある巻の一部を見た先生が多い。

件 数	1	2	3	4	無回答
97	10	35	11	32	9
(100)	(10.3)	(36.1)	(11.3)	(33.0)	(9.3)

(利用価値)

Q 9. あなたの学科で、その教材を授業で利用した主な理由は、何ですか。(○はいくつでも)

1. 補助的に、ビデオ教材を見せて説明した方がわかりやすいので。
2. 授業をはじめるにあたって、学生の興味をひき出したり、学習の動機づけに役立つので。
3. 授業のまん中頃などに、学生をリラックスさせるため。
4. その科目を教える専門の先生がいないので、ビデオ教材で学生の理解を図った。
5. 授業の主力教材として使えるものがあったので。
6. その他 ()

件 数	1	2	3	4	5	6	無回答
97	76	52	11	3	21	4	3
(100)	(78.4)	(63.6)	(11.3)	(3.1)	(21.6)	(4.1)	(3.1)

(学生の反応)

Q10. 最近の授業での利用状況をふりかえって、あなたの学科では、学生の方の反応はおおまかにいってどんなものですか。(○は一つ)

1. 好評のようだ。
2. まあ好評のようだ。
3. 何ともいえない。
4. あまり好評とはいえない。
5. 好評とはいえない。

件 数	1	2	3	4	5	無回答
97	27	52	12	3	0	3
(100)	(27.8)	(53.6)	(12.4)	(3.1)	(0.0)	(3.1)

(今後の授業での利用希望)

Q 11. あなたの学科では、センターのビデオ教材を授業の中で

((Q 10 に答えた人) これからも)
((Q 3 と Q 6 の 2 の) これからは) 使っていきたいと考えていますか。

(○は一つ)

1. 積極的に利用していきたい。
2. 良い教材があれば使っていきたい。
3. 今の段階では何とも言えない。
- 4.それほど利用していきたいとは思わない。
5. 今後の利用は考えていない。

件 数	1	2	3	4	5	無回答
254	33	181	26	3	1	10
(100)	(13.0)	(71.3)	(10.2)	(1.2)	(0.4)	(3.9)

S Q (Q 11で 4・5 の人に)

そう考える主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 当学科の授業計画に合わないの。
2. 所在を知るのに手間がかかるなど障害が多いから。
3. 事前の準備に時間がかかるから。
4. 学生の反応が今一つなので、使いがいがいいから。
5. 授業は先生の話や学生との質疑応答など直接の対応で進めたいから
6. その他 ()

件 数	1	2	3	4	5	6	無回答
4	1	1	2	0	1	1	0
(100)	(25.0)	(26.0)	(50.0)	(0.0)	(25.0)	(26.0)	(0.0)

(希望するビデオ教材の内容)

Q12. あなたの学科では、授業に使うビデオ教材として、どんなものがあればよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 各学科で共通に使える一般教育的な共通教育教材。
2. 学科の専門教育の基礎をかためるのに役立つ専門基礎教材。
3. 学科の専門的な教育に役立つ専門教育教材。
4. 外国からの留学生や帰国子女が高専生活に通応するのに役立つ留学生などのための補助教材。
5. 高専生活を楽しく送るために役立つ生活指導のための補助教材。

件 数	1	2	3	4	5	無回答
254	65	181	162	70	56	10
(100)	(25.6)	(71.3)	(59.6)	(27.6)	(22.0)	(3.9)

(科目別の希望)

Q13. では科目でいったら授業用にどんなビデオ教材があったらよいと思いますか。
5つまで書いてください。

1. 「		」
2. 「		」
3. 「		」
4. 「		」
5. 「		」

Q14. ところで、あなたの学科には、授業以外の目的でビデオ教材を見たことがある先生がいますか。(○は一つ)

1. い る
2. い ない

件 数	1	2	無回答
254	178	73	11
(100)	(63.9)	(28.7)	(4.3)

S Q (Q14で1の人に)

その主な理由は何でした。(○はいくつでも)

1. 自分の勉強のため。
2. なにかの参考になるか、たしかめるため。
3. レポート作成など学生の勉強に役立つかどうかをたしかめるため。
4. ビデオ教材のレベルや内容をたしかめるため。
5. その他 ()

件 数	1	2	3	4	5	無回答
170	71	115	28	76	6	3
(100)	(41.8)	(67.5)	(15.3)	(44.7)	(3.5)	(1.8)

Q15. それでは、あなたの学科では、授業以外の目的で利用したいビデオ教材がありますか。

(○はいくつでも)

1. 授業の準備の仕方や授業の進め方などに役立つ教師用ガイド補助教材。
2. 研究所や工場での実習に役立つ実習教育補助教材。
3. 学生の自学自習用に役立つ自習教育補助教材
4. ノートの取り方、学習の仕方、レポートの作り方、実験、実習の心がまえなどの基本教育教材。
5. その他 ()

件 数	1	2	3	4	5	無回答
254	54	92	118	88	11	49
(100)	(21.3)	(86.2)	(46.5)	(34.6)	(4.3)	(19.8)

(ビデオ教材と印刷教材との関係)

Q16. 話は変わって、ビデオ教材の作り方を印刷教材の内容との関係で伺います。あなたの学科のお考えは、次のどれに一番近いでしょうか。

(○は一つ)

1. ビデオ教材の内容は、印刷教材の内容と一致した方がよい。
2. ビデオ教材の内容は、必ずしも印刷教材の内容と一致しなくてもよい。
3. どちらとも言えない。

件 数	1	2	3	無回答
254	115	92	33	14
(100)	(45.8)	(36.2)	(13.0)	(5.5)

Q17. 最後にセンターへの要望、注文などを下にお書き下さい。

どうも長い間、ありがとうございました。

疑問の点は、放送教育開発センター研究協力課連携協力第二係 [0472(76)1111 (内線2216)]
へお問い合わせ下さい。

〔Q 7. 授業で使った教材名〕

- ・新素材＊ 金属材料編 (003)
- ・新素材＊ 金属材料編
情報時代の産業技術 (008)
- ・新素材 半導体材料編1～3巻 (009)
- ・生物シリーズ「生命科学」全15巻、又時間に余裕がある時には「基礎生物」全10巻 (011)
- ・新素材＊ (半導体材料編) 3巻 (015)
- ・半導体物性 (016)
- ・新素材＊
金属材料編
第1巻 金属の基礎
第3巻 超塑性合金
第5巻 形状記憶合金
第6巻 水素貯蔵合金 (021)
- ・生物、生命科学編 (022)
- ・橋梁関係、施工関係、情報関係 (024)
- ・基礎生物
生命科学 (025)
- ・新素材シリーズ、金属材料編 (028)
- ・半導体材料編、全3巻 (032)
- ・金属材料編
半導体材料編 (036)
- ・半導体材料
生命科学 (039)
- ・企業で作ったビデオを見せている。センターのは利用していない。(040)
- ・新素材＊ 半導体材料編 (044)
- ・新素材シリーズ「金属材料編」(047)
- ・半導体材料 (048)
- ・基礎生物編—生命の単位、血液とその働き
生命科学編—生命の基盤—DNA
タンパク質
DNA からタンパク質へ (049)
- ・新素材＊ 金属材料編
新素材＊ 半導体材料編 (052)
- ・基礎生物 (053)
- ・新素材＊ 半導体材料編 (054)
- ・新素材シリーズ「金属材料編」(055)
- ・生物 (生命科学編)

- 新素材（有機材料編）
- 新素材（金属編）
- 新素材（半導体編）（058）
- ・新素材（059）
- ・基礎生物（高専用）
- 生命科学（ ）（063）
- ・金属材料編（064）
- ・データ解析法
- データ解析法の進歩
- 脳と行動
- 計測と制御
- 地球の科学＊（067）
- ・金属材料編（070）
- ・新素材シリーズ「金属材料編」
- 超塑性合金
- 形状記憶合金（072）
- ・情報工学（074）
- ・生命科学
- 基礎生物（075）
- ・基礎生物（077）
- ・半導体材料編
- ＊半導体工学の授業（2単位）に使用した。
- ＊テキストは教科書に近い形で利用した。（081）
- ・新素材シリーズ 金属材料編（082）
- ・生物シリーズのうち一部（083）
- ・保健体育（085）
- ・新素材シリーズ 半導体材料編（086）
- ・半導体材料編（088）
- ・新素材
- 無機材料編
- 金属材料編（092）
- ・高専の生物（バイオテクノロジー）（093）
- ・計測と制御
- システム工学（096）
- ・基礎生物
- 生命科学（097）
- ・生命科学（098）
- ・半導体材料（100）

- ・新素材＊
 - 半導体材料編（102）
- ・生命科学シリーズ
 - 基礎生物（104）
- ・金属材料編
 - 半導体材料編（108）
- ・基礎生物
 - 生命科学
 - 授業以外にも、4・5年生に適宜貸し出しを行っている。（109）
- ・半導体材料（111）
- ・超塑性合金
 - 超高性能金属（115）
- ・金属材料編
 - 半導体材料編（119）
- ・生命科学
 - 基礎生物（120）
- ・生命科学
 - 基礎生物（123）
- ・半導体材料編（140）
- ・金属材料編（141）
- ・新素材シリーズ
 - 金属材料編
 - 半導体材料編（144）
- ・生命科学シリーズ（145）
- ・金属材料編（148）
- ・瀬戸大橋に関するもの
 - 神戸沖のうめたてに関するもの
 - 東京湾の？理工事に関するもの
 - ？？企業のイメージアップに関するもの？件（152）
- ・「金属材料」を「金属材料」教科の中で一部分利用（153）
- ・「生命科学」を5年生選択科目、「生命科学」の時間に上映（関係する項目のみ）（154）
- ・半導体材料（155）
- ・生命科学（157）
- ・金属材料編（160）
- ・新素材シリーズ「金属材料編」（166）
- ・生命科学（169）
- ・金属材料編（171）
- ・新素材＊ 半導体材料編

- 新素材＊ 金属材料編 (173)
- ・生命シリーズ「生命科学」「基礎生物」(178)
- ・基本、基礎科目 物質の構造と機能
- 基本、基礎科目 基礎化学 (180)
- ・新素材＊ 半導体材料編
 1. 半導体物性
 2. シリコンおよびそのプロセス
 3. 化合物半導体 (183)
- ・「生命科学」
- 「基礎生物」(185)
- ・金属材料編
- 半導体材料編 (190)
- ・金属材料編 (193)
- ・生命科学シリーズ「DNA」(195)
- ・英語＊1～30のうちピックアップしたもの
- 英語＊B (197)
- ・半導体材料編
- 金属材料編 (206)
- ・新素材シリーズ
- 金属材料編
- 半導体材料編 (207)
- ・時間つぶしにランダムに見せた。(208)
- ・生命科学
- 基礎生物 などの適当な作所 (210)
- ・新素材＊
- 半導体材料編 (211)
- ・新素材＊ 金属材料編 金属の基礎、合金、超塑性合金、非晶質、形状記憶合金、
水素貯蔵合金、超高性能金属 (212)
- ・半導体材料編 (215)
- ・金属材料編 (216)
- ・新素材＊ 半導体材料編—半導体物性、シリコン及びそのプロセス、化合物半導体産業と技
術、情報工学 (218)
- ・生命科学
- 基礎生物 (219)
- ・社会関係 (政経、歴史、産業論、地理など)
- ドイツ語 (初級) (221)
- ・金属材料編 (223)
- ・生命科学

- 基礎生物 (227)
- ・新素材シリーズ「金属材料編」(229)
- ・半導体
金属材料
生物学 (233)
- ・新素材シリーズ「金属材料編」(238)
- ・生命科学
基礎生物
高等バイオ映像教材「生物」(243)
- ・日常生活と法
高専用試作教材「生物」(247)
- ・システム工学
日本経済と産業と企業 (251)
- ・システム工学 放送大学教材 (浅居喜代治)
データ分析 放送大学教材 (林 知己夫) (252)
- ・物理の世界
計測と制御 (253)

〔Q13. 授業用ほしい教材〕

- ・ 1. 情報理論
- 2. 信号処理
- 3. 電子計測
- 4. 設計製図 (001)
- ・ 1. 新素材、非金属材料編
- 2. メカトロニクス編 (003)
- ・ 1. 測量実習
- 2. コンクリート工学実験
- 3. 土質実験
- 4. 水理実験
- 5. アスファルト実験 (004)
- ・ 1. 化学工業の各製品の製造工程
- 2. 化学反応モデル
- 3. 金属、半導体以外の新素材 (005)
- ・ 1. 一般物理
- 2. 一般工学 (006)
- ・ 1. 数学「微分積分」「微分方程式」NHK ラジオの高等学校講座のTV 版
- 2. 英語会話「特に学校生活に関するもの」
- 3. 日本語、日本事情「特に外国人留学生向けのもの」
- 4. ドイツ語「日常会話」
- 5. 地理「国内及び外国のもの」(007)
- ・ 1. HR 指導用
- 2. 実習教育用 (008)
- ・ 1. トランジスタの動作原理を詳しく説明したもの
- 2. 量子論の基本を解説したもの (009)
- ・ 1. 物理学の現象や法則に関する実験、応用例など。
- 2. 特に時間的経過での様子を説明するもの。(010)
- ・ 1. 高専で備えづらい高価な装置、実験室 ex. 高倍率電子顕微鏡
- 2. 安全工学 (011)
- ・ 1. 実験の説明用
- 2. 土木工事の施工方法、機械の紹介 (012)
- ・ 1. 物理学の各分野での教材 (013)
- ・ 1. エネルギー変換
- 2. 原子モデル
- 3. 環境汚染
- 4. 物質の化学変化
- 5. 科学史 (014)

- ・ 1. 電子基礎実験用
- 2. 夢を与える導入教材 (015)
- ・ 1. 工作実習 (017)
- ・ 1. 最新の情報工学に関連した教材 (018)
- ・ 1. 実験：指導用ビデオ
- 2. 専門科目：産業界の実物機器の映像（学校、教室、実験室で見られない）(019)
- ・ 1. メカトロニクス技術
- 2. 人工知能
- 3. ロボット工学
- 4. 制御工学
- 5. 電子回路 (020)
- ・ 1. 金属の変形と破壊（延性と脆性）
- 2. 銅の焼入れとマルテレサイドの変態
- 3. 結晶の面、方向とコンピューターグラフィックス
- 4. 組織と光顕、電顕の利用
- 5. メカトロ基礎実験 (021)
- ・ 1. 生物工学（バイオテクノロジー）
- 2. 新素材（機能性高分子材料）
- 3. 超ミクロの世界（ナノ・スペース）
- 4. 環境化学
- 5. エネルギー (022)
- ・ 1. 専門が土木だから
- 2. 土木に関したもの (024)
- ・ 1. 化学実験操作法
- 2. 安全工学
- 3. ミクロの科学
- 4. 化学工業史
- 5. 化学装置材料 (025)
- ・ 1. 電気磁気学
- 2. 交流理論
- 3. 応用数学（フーリエ級数展開等）
- 4. 情報処理
- 5. 電気材料 (026)
- ・ 1. 数学
- 2. 社会系学科 (027)
- ・ 1. 技術的な最新情報を収めたもの
- 2. 立体的な構造を説明するもの（結晶など）
- 3. 説明だけでは解り難いものの実演

- 4. 実験的なもので経費のかかる様なもの
- 5. 材料などの破壊した実例集など (028)
- ・ 1. 保健、体育
- 2. 物理
- 3. 化学
- 4. 英語 (029)
- ・ 1. 単位操作
- 2. 汚染処理工学
- 3. 物理化学
- 4. 粉体工学
- 5. 熱力学 (030)
- ・ 1. 専門用の一般的なもの、特に1年生対象
- 2. 専門用で基礎理論を図解したもの
- 3. 先端的な技術の紹介 (032)
- ・ 1. エネルギー
- 2. 熱力学
- 3. 材料
- 4. 流体
- 5. 工作法 (033)
- ・ 1. 化学 (実験)
- 2. 物理 (実験) (034)
- ・ 1. 基礎電気
- 2. 物理 (035)
- ・ 1. セラミックス
- 2. 高分子材料
- 3. 複合材料 (036)
- ・ 1. DC・AC サーボモーターの基礎原理
- 2. パワーエレクトロニクスの基礎原理
- 3. 制御用電気機器の応用例
- 4. デジタル制御 (応用設計手法)
- 5. マイクロコンピュータについて (037)
- ・ 1. コンピューター開発、製造プロセス
- 2. ソフトウェア企画、設計、開発プロセス
- 3. 情報システム企画、設計、開発プロセス
- 4. 情報システムの各分野への利用状況 (038)
- ・ 1. 基礎電気関係
- 2. 制御関係
- 3. 情報処理関係 (042)

- ・ 1. ロケットに関するもの
- 2. 太陽からのエネルギーに関するもの
- 3. 外国からの留学生に役立つもの (043)
- ・ 1. 半導体、材料関連の先端技術等の入ったもの
- 2. 特活で見られる専門科目が社会で活用出来る例等 (044)
- ・ 1. 機能性材料のメカニズム
- 2. 新素材の製法と特性
- 3. 新素材の分子、原子構造
- 4. 2、3との関係 (045)
- ・ 1. 安全教育
- 2. 機械工学の概要 (046)
- ・ 1. 金属組織学 (標準と熱処理)
- 2. 力学基礎
- 3. 熱力学
- 4. 工作法 (047)
- ・ 1. 電子工学
- 2. 電子回路
- 3. 電子計算機
- 4. 発電電
- 5. 高電圧 (048)
- ・ 1. 基礎生物
- 2. 生命科学 (049)
- ・ 1. ~の話しシリーズ
- 2. 生態学系のもの
- 3. 水環境について
- 4. 橙辛物
- 5. その他いろいろ

例えば技報室出版の土、水、?等のシリーズがあり土木工学入門書としての教材が欲しい。

(050)

- ・ 1. (機械) 材料
- 2. 情報処理
- 3. 材料力学
- 4. 流体力学
- 5. 執力学 (052)
- ・ 1. 先端技術の紹介
- 2. 物理現象と工業技術
- 3. コンピュータの使い方 (MSDOS、UNIX) (054)
- ・ 1. 実験、実習

- 2. 情報処理
- 3. 設計、製図 (055)
- ・ 1. 電気、電子基礎
 - 2. 半導体素子
 - 3. メカトロニクス基礎
 - 4. センサー・アクチュエーター
 - 5. エネルギー開発 (057)
- ・ 1. 石油化学 (石油精製工程と製品の用途)
 - 2. 高分子化学
 - 3. 化学工学
 - 4. 触媒化学
 - 5. 生化学実験 (058)
- ・ 1. セラミックス
 - 2. 超電導
 - 3. 形状記憶合金 (059)
- ・ 1. 先端技術関連
 - 2. 化学実験
 - 3. パソコンの使い方
 - 4. 日本の産業
 - 5. 企業の構造 (060)
- ・ 1. デジタル制御 (ロボットなど)
 - 2. 通信工学
 - 3. 機能材料
 - 4. 電子機器の原理を説明したもの (061)
- ・ 1. 加工法に関するもの
 - 2. 技術史 (062)
- ・ 1. 自然科学の現在のトピック
 - 例 バイオ材料 (キチン、コレストリーク液晶)
 - セラミック
 - 太陽電池 (パネル) etc. (063)
- ・ 1. 機械材料
 - 2. 機械工作法
 - 3. ホームルーム
 - 4. 数学 (064)
- ・ 1. LSI ができるまで
 - 2. レーザの応用分野 (065)
- ・ 1. 橋梁架設
 - 2. ダム建設

- 3. トンネル工事
- 4. 海岸、海洋に関する建設
- 5. 下水道工事 (066)
- ・ 1. 大気汚染 (酸性雨、CD*、オゾン破壊)
- 2. 水圏汚染 (海水、湖河川の汚染について)
- 3. 建築材料 (特に新建材)
- 4. 建築史 (067)
- ・ 1. 電磁気学 “電流と磁界”
- 2. デジタル信号処理入門
- 3. 工業所有権法入門「特許のしくみ」
- 4. 回路工学 “過渡現象”
- 5. データ構造とアルゴリズム “…アルゴリズムについて” (068)
- ・ 1. 電気応用
- 2. 電気法規及び施設管理
- 3. 電波法規及び通信施設
- 4. 電子応用工学
- 5. システム工学 (069)
- ・ 1. 機械工作法
- 2. 機構学
- 3. 機械力学
- 4. 熱機関
- 5. 制御工学 (070)
- ・ 1. セラミックス、複合材料
- 2. エンジニアリングプラスチック (072)
- ・ 1. 専門教育 (電気) の基礎 (073)
- ・ 1. ハードウェア関連知識のうち論理構成
- 2. 〃 具体的なデータの効き
- 3. ソフトウェア関連知識のうちデータ構造
- 4. 〃 割込動作、多重度
- 5. 数理計画法 (074)
- ・ 1. 新素材
- 2. バイオ (075)
- ・ 1. 構造力学の基礎
- 2. 水理学の基礎
- 3. 土質力学の基礎
- 4. 土木計画学の基礎
- 5. 測定の基礎 (076)
- ・ 1. 基礎数学 (TEMCO VIDEO LIBRARY の日本版)

- 2. 代数学、グラフ
- 3. 確率と統計
- 4. 力学
- 5. 統計学実践講座 (078)
- ・ 1. 地学 (岩石の成生過程等)
- 2. プレストレストコンクリートの原理と応用
- 3. 水理 (水の流れ渦など)
- 4. 土質 (流動化現象、土圧)
- 5. 施工法 (土工用機械) (079)
- ・ 1. 電子材料の作製法
- 2. コンピュータネットワーク
- 3. コンピュータハードウェア (080)
- ・ 1. 超電導に関するもの
- 2. 制御用電気機器に関するもの
- 3. 先端技術解説 (081)
- ・ 1. 自動車工学関係
- 2. 機械工学の入門ビデオ
- 3. ロボット関係
- 4. CAD/CAM 関係
- 5. 安全教育 (082)
- ・ 1. 特別活動に利用できるもの
 - 例えば交通安全
 - 性教育
 - 喫煙への対応
 - 適正飲酒など (083)
- ・ 1. システム制御 (各種応用例)
- 2. ロボット工学
- 3. 電子応用機器 (084)
- ・ 1. 酒、たばこと健康
- 2. 寮生活を楽しく (085)
- ・ 1. 電子工学
- 2. 画像処理関係
- 3. 医用電子関係
- 4. 超伝導
- 5. マイクロマシニングのメカトロニクス (086)
- ・ 1. 電気基礎
- 2. 電磁気学
- 3. 電子物性

- 4. 応用数学
- 5. 物理一般 (087)
- ・ 1. 機械工作法
- 2. 電子回路
- 3. 制御機器
- 4. ロボット (088)
- ・ 1. 材料評価 (試験) 法
- 2. 材料分析法
- 3. 化学工学
- 4. 機械工作
- 5. 材料表面工学 (092)
- ・ 1. 衛星放送のしくみ
- 2. AV 機器のしくみ
- 3. テレビジョンのしくみ
- 4. 光通信のしくみ (094)
- ・ 1. 機械工作法
- 2. 工場実習
- 3. 地球環境保全
- 4. エネルギー問題 (096)
- ・ 1. 化学、物理 (097)
- ・ 1. 基礎数学
- 2. 基礎物理学
- 3. 基礎化学
- 4. 応用数学
- 5. 応用物理学 (098)
- ・ 1. 工作法……各種加工法、鑄造法の原理と実際
- 2. 材料力学…モデルに力をかけた時の変形の表示
- 3. 設計法……設計の基本と問題点の表示
- 4. 設計製図…平面図と立体図の対比
- 5. 電子工学…各種回路の原理と実験例 (099)
- ・ 1. プログラム言語
- 2. 実験、実習 (TV 回路、シンクロ、論理回路など (100))
- ・ 1. 環境に関する基礎講座
- 2. 土木史に関する教材
- 3. 海外の土木工事情報
- 4. 土木最新技術の紹介
- 5. 建設機材に関する教材 (101)
- ・ 1. 数学

- 2. コンピューター関係
- 3. 物理
- 4. 電磁気学
- 5. 電気回路 (102)
- ・ 1. 力学
 - 2. 自動制御
 - 3. 流体力学一般的な講義ではなく種々の現象を視覚的にとらえた教材を望む。
 - 4. 材料力学 (103)
- ・ 1. 化学系 (無機) (有機) (高分子)
 - 2. 宇宙物理 (104)
- ・ 1. 建築の建設過程
 - 2. 建築構造の耐震性 (シュミレーションで)
 - 3. アジアの歴史都市
 - 4. アジアの都市問題
 - 5. アジアのすまい (105)
- ・ 1. 物理の基礎
 - 2. 化学の基礎
 - 3. 美術関係
 - 4. 厚生補導関係
 - 5. 寮生活について (107)
- ・ 1. 応用微生物学
 - 2. 分析、有機化学実験のオリエンテーション用ビデオ教材 (109)
- ・ 1. 半導体開発の紹介
 - 2. コンピュータの発展紹介 (110)
- ・ 1. 土木工学実験
 - 2. 構造力学
 - 3. 鉄筋コンクリート工学
 - 4. 土質力学
 - 5. 水理学 (112)
- ・ 1. 電子計算機システム (114)
- ・ 1. 学内に設備がない装置での実験
 - 2. 製造工程
- ・ 1. 先端技術に関するもの
 - 2. 技術史
 - 3. 技術の流れ概要の解かるもの (118)
- ・ 1. 電子回路教材
 - 2. 電子物性教材
 - 3. 物理実験教材

- 4. 特殊関数教材
- 5. 量子力学教材 (119)
- ・ 1. 分析
- 2. 有機化学
- 3. 無機化学
- 4. 有機工業化学
- 5. 無機工業化学 (120)
- ・ 1. 建築材料
- 2. 建築施工
- 3. 建築構法
- 4. 建築史
- 5. 建築作品 (121)
- ・ 1. 外国文化シリーズ
- 2. 外国?学シリーズ
- 3. 民族文化シリーズ
- 4. 言語シリーズ
- 5. 日本の民族 (122)
- ・ 1. 化学
- 2. 生物
- 3. 物理
- 4. 体育
- 5. 数学 (123)
- ・ 1. 経費の負担が軽いもの
- 2. 50分でまとまっているもの (124)
- ・ 1. 同和問題を扱ったビデオ
- 2. C言語
- 3. コンピュータ OS (UNIX) (125)
- ・ 1. シーケンス制御の実際
- 2. ロボット工学
- 3. システム工学
- 4. 計測と制御
- 5. フィードバック制御の応用 (126)
- ・ 1. 流体力学実験
- 2. 熱体工学
- 3. 水力学
- 4. 熱力学
- 5. エネルギー (128)
- ・ 1. 物流機器工学：機械のしくみ

- 2. 物流施設工学：施設動線の分析
- 3. 貨物管理工学：振動
- 4. システム工学：目でみるシステムのいろいろ
- 5. 電子計算機工学：大型コンピュータのしくみ (129)
- ・ 1. 電磁気学 (アニメーション)
- 2. 半導体集積回路入門
- 3. 電子回路 (アナログ編)
- 4. 電子回路 (デジタル編)
- 5. 電子計算機 (ハードとソフト) 入門 (130)
- ・ 1. 内燃機関、蒸気機関 (含ボイラ) その他機器の各種構造と作動
- 2. 工業材料の解説
- 3. 空調機器の解説 (131)
- ・ 1. 建築に関する概要
- 2. 各専門の科目の内容
 - (構造：RC 造、S 造構造力学等)
 - (計画：建築計画、建築史、環境工学等) (133)
- ・ 1. 電気回路
- 2. 電気磁気
- 3. 数学
- 4. 応用物理
- 5. ホームルーム指導 (135)
- ・ 1. 機械工作法
- 2. 設計製図
- 3. 塑性加工 (圧延、ばく発成形など)
- 4. 計測工学 (特殊な計測の紹介) (136)
- ・ 1. 数学のグラフを動的に取扱ったもの
- 2. 物理、化学等で普通学校では実験できないようなもの (138)
- ・ 1. 情報工学概論 (コンピュータの働き)
- 2. 信号処理 (音声とか画像)
- 3. メカトロ (ロボット)
- 4. 制御 (or - OFF、位相、PWM)
- 5. マイクロプロセッサの歴史、マイクプロセッサの動作 (140)
- ・ 1. 電気 (子) 回路設計編
- 2. 機械の学編 (機力、材力、熱力、水力)
- 3. 機械 (電気) 設計論編 (141)
- ・ 1. 特殊加工 (142)
- ・ 1. メカトロニクス関係
- 2. 生産システム関係 (144)

- ・ 1. 新素材
 - 2. バイオテクノロジー（応用的なもの）（145）
- ・ 1. 物理……教室での演示実験が難しい、最先端の実験
 - 2. 化学……学生実験、デモ実験で実施が難しい実験
 - 3. 数学……空間図形を視覚的に認識する
 - 4. 英語……テキスト、音声テープに連動した具体的な場面の動画
 - 5. 社会……留学生に対する日本事情説明（146）
- ・ 1. プログラムと知的所有権
 - 2. LSI の設計、製造
 - 3. VT 端末利用者の健康管理（147）
- ・ 1. 力学、運動
 - 2. 機械工作
 - 3. 電子回路
 - 4. コンピューターの基礎
 - 5. 自動制御（148）
- ・ 1. 熱機関（ディーゼルエンジン、蒸気タービンのサイクル原理、構造説明）
 - 2. 船の積荷を復元性又は荒天と船体の運動性との関連（149）
- ・ 1. 材料力学
 - 2. エネルギーシステム
 - 3. MSCOS の使用
 - 4. 半導体素子の原理
 - 5. コンピュータグラフィクス（151）
- ・ 1. 構造実験に関するもの
 - 2. 流体実験に関するもの
 - 3. 土？実験に関するもの
 - 4. ？？に関するもの（152）
- ・ 1. 材料力学
 - 2. 水力学
 - 3. 熱力学
 - 4. 機械力学
 - 5. 機械工作（153）
- ・ 1. 半導体プロセス関係（155）
- ・ 1. 材料力学
 - 2. 工作法
 - 3. 熱工学
 - 4. 水力学
 - 5. 制御工学（156）
- ・ 1. 素材及び利用技術

- 2. メカトロ
- 3. コンピューター
- 4. 環境
- 5. 宇宙 (157)
- ・ 1. 芸術 (音楽、美術、書道、デザインなど) (158)
- ・ 1. 情報関係ビデオ (159)
- ・ 1. 超伝導関係
 - 2. ニューロ・コンピュータ関係
 - 3. バイオテクノロジー関係 (160)
- ・ 1. 光通信関係ビデオ (162)
- ・ 1. 物理関係 (163)
- ・ 1. 電子部品
 - 2. 情報基礎
 - 3. ロボット工学系
 - 4. シミュレーション
 - 5. 制御関係 (165)
- ・ 1. 力学
 - 2. 機械工作法
 - 3. 機械材料学
 - 4. 自動制御 (166)
- ・ 1. 船般整備
 - 2. 操船法
 - 3. 航海計器
 - 4. 内燃機構造 (167)
- ・ 1. 環境工学
 - 2. 景観学
 - 3. 橋梁架設
 - 4. 土木施工
 - 5. 地域計画 (168)
- ・ 1. 化学工学 (現場を知らない学生にビデオで現場を理解させるようなもの) (169)
- ・ 1. 電磁気学の基礎的な内容のもの
 - 2. 水力、火力、原子力発電に関する内容 (170)
- ・ 1. 図学用コンピュータグラフィックス
 - 2. 原子の核動や破壊のメカニズム
 - 3. 機械機構の運動
 - 4. 流体の運動、可視化
 - 5. 内燃機関における燃焼等の高速現象 (171)
- ・ 1. 無キ化合物の結晶構造

- 2. 鉄、銅、アルミニウムな金属の製造プロセスの実際 (173)
- ・ 1. 電子工学
 - 2. メカトロニクス
 - 3. ロボット (175)
- ・ 1. 流体機械
 - 2. 工作機械
 - 3. 材力学
 - 4. 機?学
 - 5. 回学 (177)
- ・ 科目別では特にないが、上記のQ12の4. 5 などがあれば利用者はいる。(179)
- ・ 1. 応用物理
 - 2. 機器分析実験
 - 3. 機械工学の基礎
 - 4. 電気工学の基礎
 - 5. 材料化学 (180)
- ・ 1. 物理
 - 2. ロボット
 - 3. 生産工学 (工場の実態) (181)
- ・ 1. 本では説明できない動きのあるもの (電磁気学のベクトル解析など) (182)
- ・ 1. 電気の技術史、コンピューター発達の歴史等産業考古学的色彩をもった教材 (183)
- ・ 1. ロボット工学 (184)
- ・ 1. 材料：鉄、銅、セメント等の製造の仕組と最新設備
 - 2. 材力：荷重により変化する応力、変形等の様子
 - 3. 機力：振動解析シュミレーション実例
 - 4. 熱、流体：原理、法則を動きの中でビジュアルに説明
 - 5. 工作：ロボット、MC 等による加工工程とFA 紹介 (186)
- ・ 1. 電気磁気学
 - 2. 電気回路
 - 3. 電子工学
 - 4. 電子計算機 (187)
- ・ 1. 英語科
 - * 5 文型の練習教材
 - * 基本動詞特にbe、get、have、make の練習教材
 - * 短文の内容理解 (comprehension) のための教材 (189)
- ・ 1. 製図、図学講座
 - 2. 工学実験法 (190)
- ・ 1. 世界各国の教育事情を示すビデオ
 - 4. 日本語、日本事情を解説してあるもの

- 5. ホーム・ルームに活用できるビデオ (191)
- ・ 1. 加工
 - 2. 原動機
 - 3. 流体機械 (193)
- ・ 1. 電気磁気学の基本的法則の説明
 - 2. センサ技術の原理的なもの
 - 3. 特別教育活動に利用出来る教材 (194)
- ・ 1. 計測システム工学
 - 2. 生産システム工学
 - 3. CAD/CAM システム
 - 4. FUZZY、ニューロコンピュータ
 - 5. コンピュータの種類と用途 (195)
- ・ 1. 施工
 - 2. 建設機械
 - 3. 都市計画
 - 4. 土木地学
 - 5. 環境工学 (196)
- ・ 1. 英語会話入門用
 - 2. 英語会話中級用
 - 3. 歴史教材の中で部分的にポイントをおいたもの
 - 4. 外国事情の紹介 (197)
- ・ 1. 電気機器 (基礎)
 - 2. 制御工学 (基礎)
 - 3. 電力工学 (専門)
 - 4. 電子工学
 - 5. 電気材料 (物性) (198)
- ・ 1. 教科書や黒板では表現が困難で学生には理解させがたい。図形その他 3 次元的な画像をビデオでわかり易く説明したもの。またアニメーションやCG を駆使して動きを入れて理解を助ける。
 - 例. 転位の種類とその動き納品の格子……方向による原子配列を見? 方
Fermi 面 (3 次元表示) etc. 機械学、図学 (199)
- ・ 1. 電気、磁気に関する基礎的教材
 - 2. 電気回路、電子回路に関する教材
 - 3. システム工学に関する基礎理論
 - 4. 情報理論に関する基礎理論
 - 5. 集団活動、社会性向上を目的とするケーススタディなど (200)
- ・ 1. 空間図形、3 次元の曲面に関するもの
 - 2. 著名な学者の生い立ち、エピソード、業績、横顔

- 3. 一般物理、自然に関するもの
- 4. バイオサイエンス、新素材、環境工学
- 5. スポーツ種目の基本応用編、性教育
- ・ 1. 機材の強さ関係
- 2. 流体力学の関係
- 3. 熱力学の関係 (202)
- ・ 1. 最近の超精密加工関係のもの
- 2. エネルギー (鉱物、太陽、原子力……)
- 3. 流体機械関係のもの
- 4. 自動化工場の実際について
- 5. 環境問題について (203)
- ・ 1. 情報処理
- 2. 通信工学
- 3. コンピュータ工学
- 4. 制御工学
- 5. 固体物性工学 (204)
- ・ 1. 就職試験の際、面接の仕方、受け方 (205)
- ・ 1. 複合材料
- 2. 電気、電子材料
- 3. セラミック材料
- 4. 宇宙、航空機材料
- 5. 高分子材料 (206)
- ・ 1. 情報処理
- 2. リモートセンシング等
- 3. 土木・建築の構造物、施設の歴史・遺跡
- 4. 気象、異常気象
- 5. 環境、エネルギー (209)
- ・ 1. 地理関係 (210)
- ・ 1. 電子工学
- 2. 電磁気学
- 3. 工業数理的なもの (211)
- ・ 1. 製図
- 2. 工作実習
- 3. 切削工学、研削工学
- 4. 新素材 (212)
- ・ 1. 記号
- 2. 単位
- 3. 宗教 (213)

- ・ 1. 基礎資材の説明（製造、性質）（214）
- ・ 1. 電気研気学
 - 2. 新素材のハードウェア（215）
- ・ 1. 機械工学、各論に相当するビデオ（216）
- ・ 1. 材料工学
 - 2. 機構学
 - 3. 熱力学
 - 4. 機械力学
 - 5. 流体力学（217）
- ・ 1. 発電（原子力、水力、火力、風力）システム
 - 2. 半導体開発の現状
 - 3. ロボット開発の歩み（218）
- ・ 1. バイオテクノロジー
 - 2. 高分子材料
 - 3. 情報処理
 - 4. 有機および無機工業化学
 - 5. 化学工学（219）
- ・ 1. 地盤の液状化とその対策
 - 2. 軟弱地盤の対策と高速道路
 - 3. 橋梁技術の発展と景観
 - 4. ビル建造と都市防災
 - 5. 3 Kを払拭する明るいもの（220）
- ・ 1. 生産工場の装置現場
 - 2. 化学製品の応用利用
 - 3. 新素材の状況（222）
- ・ 1. 加工工学
 - 2. 材料工学（223）
- ・ 1. 電気実験（研究）での安全教育
 - 2. 電気実験の基礎（電圧、電流、??電力の測定など）
 - 3. 電磁現象の基礎（低学年用に視覚的に現象がわかる様な教材）
 - 4. 電子計算機の基礎（ソフトとハードを結びつける基礎的な教材）
 - 5. 高専生活を楽しく送るために（特に入塾時や低学年向けに中学校の延長でないことを理解される為のもの）（224）
- ・ 1. メカトロニクス技術（225）
- ・ 1. 電子物性
 - 2. 半導体
 - 3. 電子計算機システム、応用（226）
- ・ 1. 化学工業

- 2. 金属の精錬 (227)
- ・ 1. 世界史
 - 2. 日本史
 - 3. 政治、経済
 - 4. 物理
 - 5. 保健 (体育) (228)
- ・ 1. 機械工作実習
 - 2. 機械製作法 (229)
- ・ 1. 電磁気学
 - 2. 電子材料部品 (231)
- ・ 1. 電気、電子の基礎
 - 2. 論理回路
 - 3. 電子計算機 (アーキテクチャ) の基礎
 - 4. 電子回路の基礎
 - 5. 計測工学の基礎 (測定論、電気計測) (232)
- ・ 1. 分析化学 (基礎)
 - 2. 機器分析 (233)
- ・ 1. 建築史
 - 2. 建築構造 (S、RC)
 - 3. 建築施工
 - 4. 建築計画
 - 5. 設計製図 (234)
- ・ 1. 環境問題に関するもの
 - 2. 社会基盤整備に関するもの
 - 3. 芸術
 - 4. 国際交流 (235)
- ・ 1. 電気回路 (回路)
 - 2. 電子工学
 - 3. コンピュータ工学
 - 4. マイクロコンピュータ工学
 - 5. 画像処理工学 (236)
- ・ 1. 電子計測と制御
 - 2. パワーエレクトロニクス
 - 3. 基礎電気工学
 - 4. 電気磁気学
 - 5. 電気回路 (テブナンの定理、キルヒホッフの法則) (237)
- ・ 1. 先端技術
 - 2. 大型実験、研究設備を用いたもの

- 3. 海外技術の紹介 (238)
- 1. 物理
- 2. 化学
- 3. 英語
- 4. 体育
- 5. 数学 (239)
- 1. 物理関係デモ実験シリーズ
- 2. 化学関係デモ実験シリーズ (240)
- 1. 生物
- 2. 国語、特に古典
- 3. 英語
- 4. 化学 (241)
- 1. 物理化学
- 2. 化学工学 (現場を取り入れた形) (243)
- 学校でできないような実験のフィルム……例えば溶接のアーク部分の挙動など学校でも公共放送でも簡単に見れないもののフィルム……例えば専門的な工事記録など (244)
- 1. 高分子合成
- 2. 高分子物性
- 3. 有機化学反応
- 4. 物理化学実験
- 5. 機器測定 (245)
- 1. 建築構造系
- 2. 建築計画系
- 2. 建築環境工学系
- 4. 生活指導のためのもの (246)
- 1. 知識工学
- 2. 物生工学 (248)
- 1. 新素材関係 (250)
- 1. システム工学
- 2. 制御理論
- 3. 計算機ネットワーク (251)
- 1. 電磁気学
- 2. 電子材料
- 3. 気体電子工学、個体電子工学 (252)
- 1. 物理 (もう少し程度の高いもの) (253)
- 1. 物理
- 2. 化学
- 3. 国語 *作家の生い立ち、生涯を概説したもの

- *文学作品の内容を映画化したもの、名作映画、過去の
 - *古典の背景となる建物や有???を解説したもの
 - *専門家の講義をビデオ化したもの
4. 英語 *リスニング中心のもの異文化理解に役立つもの (254)

〔Q17. センターへの要望、注文〕

- ・現在借用している新素材工金属編は、それはそれで大変役に立つが、あくまでも低学年用で、もう少し高度な内容の教材があれば高学年にも使用可能である。
又先端技術全般にわたる教材を希望する。(003)
- ・パンフレット等を送っていただければ幸いです。(007)
- ・*教材のリスト、内容が知りたい。
*シリーズのある巻だけ利用できるかどうか。(008)
- ・1～3巻とも良くできているとは思いますが、内容をもっと濃いものにした方が良いと思います。簡単な解説という感じを受け、一般向けの程度に近いのではないのでしょうか。もっとトランジスタ、レーザ、材料精製、単結晶というようにテーマをしぼって、1時間程度にそれぞれまとめて欲しいです。静止画で見ることも多いのでその点も考慮していただけるとなお良いと思います。(009)
- ・*ビデオ教材の利用方法の一つに、平素人間が立ち入ることの出来ない世界を顕微鏡や望遠鏡、ファイバースコープで見ることにあると思う。しかもカラー表示の動画像で示されることにより、そこから得られる情報量には非常に大きいものがあると思う。そこで例えば発電工学関連では、*タービンの内部
*ボイラの内部
*原子炉の内部 等があげられる。
*ビデオ教材が制作されて、各高専に送られる場合各学科主任あて送っていただけないものだろうか。新素材シリーズのタイトルだけから学内で判断されると機械系学科が主となってしまう。半導体材料は科目「電気材料」が適切かと思うが、内容を見ると科目「電子工学」の方により近いと感じる。(019)
- ・学生に先端技術の分野を紹介するのに大変役立っています。特に生命科学編は15巻すべてを講義とビデオ学習と半久にして授業に利用しています。(022)
- ・*自習、学習を目的として製作して欲しい。
*抽象自概念（例えばrothの意味）の把握を目的としたものも製作して欲しい。(026)
- ・新しい分野の紹介など教師、学生とも知識を広めて行くことが出来る教材。
最近のCAD、CAMなどのやさしい紹介など。(028)
- ・化学関係の教材ビデオは比較的入手しやすいのだが、化学工学関係のビデオは数が少なく学科にも、本校の視聴覚室にもあまり揃っていない。是非貴センターにおいて化学工学関係の教材ビデオを作ってもらいたい。特にバイオエネルギー、機能性材料、環境工学など、今注目されている分野の基礎的な内容の教材であれば利用率も高くなると思われる(030)
- ・専門に密着したもの
将来それぞれの専門分野での活動状況（就職に関して目標を強くもたせたいため）(032)
- ・CADやメカトロのビデオもあれば良いと思います。(033)
- ・本校一般科目、理数系科目ではそのほとんどが何らかの形で、ビデオ教材を授業に取り入れているが、貴センターでどのような教材をどう配布しているのかほとんど教官が知らない状態であり、本校内を含めてPRが足りない。

教材作製にはかなりの日時と大変な費用を要するが、是非共よりよい教材を作って利用させて載きたい。(034)

- ・90年～91年度の教育方法改善の各部会の意見を求められて、共通の教材となるものを開発されると良いと思う。(035)
- ・Q9に回答したように本科では、関連講義の動機づけや、イメージ作りに利用したいので、実験が高度、高価で実施の難しいものや、学校では実現しにくい先端技術に関するビデオなどがあると良い。例えばNHKの高校講座や自然科学など一つ一つが丁寧にわかりやすく理解させやすい。

1巻の組み立て方にもう少し整然とした組み立てが欲しい気もいたします。(036)

- ・これから製作予定のビデオ教材等のPRをお願い致します。(037)
- ・個々の工学分野、共通技術分野、社会への利用状況、最先端技術などへの活動をさらに拡げて行かれることを希望します。(038)
- ・現在の学生は聴覚より視覚を利用した生活になれている。教育の現場においてもこれを大いに利用すべきであり、特に専門関係の教材の不足になやんでいる。
実験時における基礎知識の不足を（補充も含む）ビデオ等を利用して、短時間で補える物があれば便利だと思います。(042)

- ・*物質系の科目は人間の感覚器官と密接な関係があるので、基礎的な実験の経験のある学生は理解できるが、準備段階での操作手順等やほしい知識について説明を入れる必要があると思います。

*ビデオ教材は失敗の事例は殆んどないのも不向きではないか。完ぺきな実験だけでなく、失敗例が多いほど学生の実験が上手になるようです。(043)

- ・教材として使用した場合、授業担当者の補足説明等が必要である。従って出来れば、10～15分の長さにして追加説明等を実施できるようにしてもらいたい。

尚、授業1コマは50分です。(044)

- ・新素材「金属材料編」を利用して感じたのですが、もう少し現象（例えば、伸びや破壊等）について、細かい紹介があっても良いと思う。つまり教室で実験不可能な現象を観れるようなVTRが必要だと思います。「材料編」では項目の紹介が多く内容的に少々浅いものになってしまっていると感じました。広く知識として紹介する程度であれば充分ですが、少なくとも教材としての活用を目的とするのであれば、科目担当者の意見も事前に取り込んで下さるようお願いします。(047)

- ・ビデオによす教材は是非共必要なものと考えています。特に工場レベルにおける製品の实体はビデオにより良く理解する事ができる様に思われます。

これよりも又どんどん各種のビデオを製作していただきたいと存じます。なお、本校電気工学科では、各種市販のビデオを購入し、授業時に利用しています。

又これらは希望する教職員、学生に貸し出しており、自由にみる事ができる様になっています。(048)

- ・日本化学会、日本分析化学会で編集したようなビデオ教材があればありがたいと思います。

*化学基礎実験方法「実験室の安全性」「分析天科の使用法」など

＊分析化学シリーズ「重量分析法」「機器分析」などについて (049)

- ・現在、私（コンクリート工学、水質源工学など）のところだけで100本以上のビデオ教材がある（企業の工事記録等が多い）

ダムシリーズ（全8巻、解説書付）は40万位。コンクリートについてもテーマ毎に3本位1組になって出ており、1本が2万円位します。しかし多くのものはある程度理解度が高まってからでないと思えない。従って“～の話シリーズ”（土、水、技報室）或いは“土、木へのアプローチ”（技報出版）といったテーマで画像からのみで、ある程度理解が得られるものが欲しいと思います。(050)

- ・寡聞にして貴放送開発センターの存在につきましては知りませんでしたので、差し控えさせていただきます。ただ今後は、一般教科関連で良い教材（ビデオ等）がありましたら紹介させていただきたいと存じます。(051)
- ・高専での教育は経済的、地理的に非常に＊の得づらい場合が多い。また高専での教育内容はあまり違いが無い。以上の理由より高専でのビデオ教材の利用価値は高いと思われる。製作する時は大変でも、数高専の先生方が自分の専門分野の講義をビデオ教材に作り各高専で用いれば、トータルのエネルギー及び経済的に多くなる軽減となるはずである。そのような場合の企画、立案の中心として、センターの意義は大きいものと思われる。(052)
- ・実験でも野外記録でも、講義は減らしてでも実際の生物の記録ができるだけ多くなることを要望します。(053)
- ・ビデオ教材の作成には大変な労力と費用を必要とすると思いますが、これからの授業においては、多様なメディアの活用が望まれ大変重要なことであると認識しています。とくに現代の学生はテレビ、ビデオの時代で育っており授業展開の中での多様なメディアの活用が望まれます。そのためには各教育システムにうまく溶け込むような教材の開発を長期的に計画的に行っていく必要があると思います。今後も高専サイドと連携を密に保っていただき引き続き、現場の授業にうまく補助できるような教材を作成していただきたいと思います。また、レーザーディスクやコンピュータグラフィックスの活用も考えられたら良いのではないのでしょうか。(054)
- ・今後、視聴覚用施設が拡充され、その教材の利用がさらに盛んになると考えられる。しかし一般的には貴センターの存在、役割および実際にどのような教材があるのか分からない教官もまだあるように思われる。従って教材の拡充と貴センター広報活動を積極的に行われる必要があると思われます。(055)
- ・一般的に言って、高専向けビデオ教材が各学科に配付されていることについては知らない人が多い。もっと目に触れる配慮をして下されば利用度が上っていくと思う。ビデオ教材の内容としては、極めて入門的で原理を述べる分野と、より応用的な分野を取り扱ってもらいたい。中間的な内容の分野（原理を発展させる中核となる分野）については授業の中で柔軟に取り扱った方が良い面があるので、ビデオ教材はあまり役立たないかも知れない。積極的に利用したいと考えている人も多いようであるから、今後広く各分野について充実させてもらいたい。

発刊リスト、内容紹介を時々送ってほしい。(057)

- ・ * V T R 一本の時間を30分以内にして欲しい。(V T Rのあとに補充、解説を行う時間が裕しい)
- ・ * もっと安価に手軽に利用できるようにして欲しい。(現在では市販テープ価格と大差ない)
(058)
- ・ 最後まで飽きさせない内容にして欲しい。(060)
- ・ 教材用のビデオは今後とも開発、作成を進めて欲しいと願っています。その外に学生をリラックスさせるような、学生が興味を持つテーマについても希望します。
ビデオは意外と教師の授業を進める時の参考にもなり、知識を確かめることにも役だっている。(061)
- ・ 特にないが、講義と併用したいと考えている先生が多いので、巻数の多いもの(シリーズ)ばかりでなく巻数少なく完結するものでも良いと思う。(062)
- ・ 20分程度のトピックシリーズを作っていただきたい。(063)
- ・ ビデオ教材を学生に見せると半数近くの学生が居眠りを始めてしまいました。特にビデオの中で大学の先生が映し出され、長々と説明している部分は非常に間が悪く私自身も眠りそうになります。できれば映像は先生の顔ではなく興味深い実験シーンや、イラスト等を映しながら先生の声又はアナウンサーの声でナレーションを挿入すれば興味が持続すると思います。(064)
- ・ ビデオ教材について
授業に直結するビデオもいいのですがそれは少し違った切り口のビデオも有用です。例えば、電子デバイスなどに関する授業の合間にNHK特集「半導体電子立国日本：日本自叙伝」など、自宅で録画しておいたものを見せると、学生の興味を引き出すことができるようです。一方で空間でのベクトルの向きなどベクトル解析などを説明するとき、平面である黒板だけではむずかしくビデオ等でコンパクトに解説したものがあるとありがたいと思います。授業の主力教材として使えるものは、なかなかないのではないかと思います。(068)
- ・ 応用関係の教材(電気応用、電子応用)
法現関係の教材(電気法現、電波法現)
就職試験の受け方、工場実習のやり方等の教材が切に要望される。(069)
- ・ ビデオ使用教育はきわめて意義があると思われますので一層多くの制作を望みます。(070)
- ・ * センターについてもセンター発行の教材についても、申し訳ありませんが余り知りません。
自分の不勉強を棚に上げるようですが、もう少しPRをして存在を周知させて頂きたいと思います。
- ・ * 教材の内容を多彩にして、どの科目でも利用できるよう準備をしていただければと思います。
- ・ * 一般教育科では市販の教材や、NHK等の放送番組を録画したものを教材にして、ビデオを利用しています。センター教材を選ぶにはそれなりに内容がより高専にふさわしいものであるべきだと思います。(071)
- ・ 新素材シリーズは材料学の授業で使っているが、分かり易く学生に好評である。ぜひその他の材料、例えばセラミックスや複合材料、エンジニアリングプラスチック等も続けて作成し

て頂ければ幸いである。(072)

- ・全巻を見なくてもおよそ全巻内容の理解できるダイジェスト的なものであれば非常に利用しやすく短時間で使用できる。(073)
- ・教える内容のうち最も説明しにくいのは、同時動作を本質とするものである。
(例) Q S の多重動作、基本となる割込関係、並列処理など。

次に困難を感じるのは、複雑な構造体を説明する場合

(例) アルゴリズムとデータ構造の関係

C 言語におけるポインターの活用法、ハードの例では、セクタ、トラック、シリンダー
の概念(その上へのハッシュ格納など)

このような対象にこそビデオ教材が最も適していると考え、自分でも C A I 的なトライをしているが、その点でよそのビデオ教材は教育効果の測定は無論教材の作り方自体も参考になる。(074)

- ・採用できる教材がなくて残念です。今後各専門科において適合するような広範囲の分野に渡って制作願いたい。(079)
- ・技術教育において、極めて基本的な装置、高いレベルの装置の学習が必要ですが、これらを学校で準備するのは困難です。画面で見ることによって模?的な工場見学、実験実習ができるような教材があれば使用したいと考えます。(080)
- ・最近、若者の間に機械工学ばなれの現象が見られるが、新入生に機械工学の良さをわからせて自信を持たせる事ができるようなビデオがあれば良いと思う。
N H K で電子立国日本の自叙伝という放映があったが、学生で見ている人が多く大変教育的効果も高いように思った。このような先端的な出来事も 1 時間単位をまとめてビデオにすれば、利用価値があるように思う。(082)
- ・先生方の傾向としては、自分の担当教授のものよりもむしろ専門外の、いわゆる生活指導や、不適応学生への対応のあり方など、学生指導面に対する要望が強いように見受けられる。
(083)

- ・補足説明：貴センターのビデオ教材ではないが、放送大学、企業の P R ビデオなどの一部を技術応用の実例を主体として授業で使用している。(084)
- ・半導体材料編を使用しております。半導体を 3 巻でまとめることは困難であり今のままでは、他のビデオ「N H K 物学」「校音 T V」等の方が学生にとってはわかりやすいのも事実です。生命科学シリーズのように、巻数を増やしより専門的にかなり細かい所までつめた方が利用しやすいと思います。(086)
- ・視覚にうったえる事の授業での必要性を痛感しています。特に黒板とか教科書は平面なので、立体的な説明とか図解に苦勞します。この様な説明を多く盛り込んだ教材が欲しいです。(結晶模型など) ビデオ撮影などで立体的にするのは大変でしょうがよろしく願います。
(087)

- ・* ビデオ教材の学校への無料配布

* ビデオ教材の概要集の配布 (092)

- ・「N H K の電子立国日本自叙伝」などは、学生も興味をもつすぐれた内容である。

利用するのは専門教育に関するもので、学生用の工学実験の方法を紹介するもの、具体的な電子機器のしくみの説明などできるだけ実物をみせる構成で製作して欲しい。

(094)

- ・講師が講義をする時間の多いものは学生の興味はひかない。講義形本のビデオはあまり意味がないと思う。授業で補助教材として使うことが多いため、例えば教室の講義で説明しにくい題材（例えば波、動のように動くもの）また実験室ではできない実験、観察（例えば、相対性理論の説明とか、原子、分子のビデオ等）あるいはアニメ的でわかりやすく興味をひきやすいもの等があったらと思う事がよくあります。(097)
- ・ 1. もっと広範囲に渡って基礎的分野の充実を計って下さい。
2. 併せて各分野の現状を紹介する教材の制作を望みます。(098)
- ・ビデオを15分以上見せることは、注意力、思考力が持続しないので、細かく各章別に話が独立しているものが良い。(100)
- ・建設分野の教材もお願いしたい。(特に環境問題について基礎的な教材を手掛けて欲しい)
(101)
- ・S63年3月に前任教官が、ビデオ教材“生命科学”と“基礎生物”をお借り致していましたが、H3年6月に全て返送致しております。ありがとうございました。(104)
- ・「生命科学」を所有しているが、内容が極端に遺伝子組み換え操作に偏っている為、授業に使いにくい、生命科学の基礎も確立していない状態（カリキュラム的に）で、この様な教材は現実とかけ離れていると思う。高専での実態を把握した上での教材を開発する必要があると思う。例えば「生命科学」を対象とするなら工学共通基礎の科目としての「生命のしくみ」といったものや、生物、化学系学科を対象とした「応用微生物学」や「応用生物化学」的なものが良いと思う。
印刷教材も、ビデオ画面をそのまま利用しているだけで、図が不鮮明である。内容もビデオ教材にとられすぎている。「基礎生物」は、内容的にも授業の補助教材として使え、ビデオとしての長点も活かしていると思う。(109)
- ・本質的には授業は教師の力量の範囲であると考えている。ただし要望覧にも記述したように、黒板で表現出来ないもの出来にくいものを黒板を両方使いながらビデオで授業を進めていけるようなビデオ教材があれば良いと思っている。(113)
- ・ビデオ教材は1巻20分くらいの方が50分授業で使い易いと思います。(116)
- ・*半導体材料教材を授業の中で取り込めております。教科書で教えても理解できない装置、処理、原理が分かって大変好評です。
*もし注文をつけていいならば、NHKのドラマ“電子国日本”で説明されたように
*何故そのデバイスが必要と考えたか。
*デバイスを開発するためにどのような苦労があったか。
*どのような方法で成功したか。
*発明者の人生はデバイスとどのようにかわりあったか。
等、人間的な側面と、挑戦の過程を描いて欲しい。(119)
- ・新素材シリーズを送って欲しい。(120)

- ・もっと多種類のものを安価で提供して下されば利用できるかと思います。
英語1の基礎など（英文法の基礎のこと）いかがでしょうか。（124）
- ・まだ、教材が少ないので今後教材の選択の幅が増えたり利用を増して行きたい。（126）
- ・お答えしましたように、当科では貴センターのビデオ教材利用についてはあまり積極的でなかったことを反省しています。私自身としては50インチの大型テレビと黒板を併用し、C H P のかわりに資料をテレビカメラとV T R で教材を静止画像あるいはV T R のワンショットシーンを大型テレビに写す方法をとっています。この方法だと教室を暗くする必要がありませんし、口答説明の授業と視聴覚の授業を同時に進めることができます。数10分のビデオですと、家でテレビをみているように学生がボーっとみてしまい、まあ口答の授業が中断するため、リズムが乱れがちとなります。そういったいみでビデオのテーマや内容のしほり方を細かく、また、口答の授業に合うよう映写時間も短かいものがあったらよいのになあ～と思っています。また、このような加工ができるビデオがあるとよいのですが……。話は変わりますが、貴センターのビデオ以外にどんな教育用ビデオがあるのか気になるところです。放送、公共、民間を含めたビデオライブラリーのリストといったものがあるのでしょうか。貴センターが、このような教育ビデオライブラリーのリストを定期的に調査し、速報等印刷物で教えていただければ有難いと思っています。（129）
- ・市販のビデオ教材がかなり出まわるようになりましたが、いずれも非常に高価であり、購入が困難なので、高専用の共通教材としてこのようなビデオが作成され各校に配布されることは、非常に有難いと思います。できればもっと範囲を広げて高専のカリキュラムがカバーできるようになればよいと期待しております。（130）
- ・普通の授業の補助教材として、ビデオを利用したい。その為には、普通の講義風景をビデオに撮るのでなく、教室では見せられないような内容のもの（教育T V等でやっている）を作成してほしい。コンピューター等も駆使した教材をもお願いしたい。（138）
- ・N H Kで放送された「電子国日本の自叙伝」の全シリーズをビデオに撮って教材として使っています。最先端の技術がわかりやすく楽しく見えます。半導体材料の教材は実験室での撮映が多いように見えます。理論はビデオでなくても教えられます。実際はどのようなになっているのか、作っているのかが見れば良いと思います。N H Kの取材の力はすばらしいと思います。このような教材を期待します。（140）
- ・今後もよりすばらしいビデオ期待します。（144）
- ・生物化学の授業等によく利用させてもらいますが気付きを記しておきます。
 - *タンパク合成などC Gを用いた画面は工夫のあとがあり、理解を助けている。
 - *ナレーターの話し方にもう少しセクトがあると有効と思う。
 - *一巻の時間は丁度よい。（以上、生命科学シリーズ）
 - *基礎生物シリーズより、生命科学シリーズの方が使い易い。（145）
- ・物理、化学では20分程度の演示実験ビデオ作成を希望する。（146）
- ・限られた教官、予算では進歩の早い本学科が対象とする分野（情報産業）について教育内容に全てを入れる事ができない。L S Iの製造あるいは社会的問題等は、ビデオ等の教材があれば利用したい。とにかく高専では授業に取り入れることが困難な分野の教材が大事である。

(147)

- ・ 1. テープ1巻の所要時間は30分程度に統一するのがよい。
- ・ 2. 学生用のテキストはないか。
- ・ 3. 制作の計画や制作中の状況などを知らせてもらえないか。(148)
- ・ ガイドブックを送って下さい。(151)
- ・ 各研究所での????記録などをビデオにしたらどうでしょうか。今までのビデオで印象に残っているのはタコマ橋の落下のビデオ。NHKの科学ビデオなどを供える方法。(152)
- ・ 今後とも、専門分野、専門基礎などのビデオ教材を作成していただきたい。
よろしくお願いします。(156)
- ・ 学生用の自学自習用のビデオ教材を開発して欲しい。(158)
- ・ 商船学科は工業系学科と、やや授業内容は異質な面があるので、出来ればその方面のビデオ教材があれば利用したい。(現在、船長協会、海難防止協会製作のビデオは積極的に利用している。(167)
- ・ 現在、完成している教材はまだ数が少ないのでさらに増やして欲しい。(169)
- ・ 電気工学科では、貴センターからのビデオ教材、テキスト教材とも配布を受けていません。
具体的な表現が書けなくて申し訳なく思います。(170)
- ・ *金属材料編1～7巻を全部学生に見せる時間を取るのは困難であるので、テープの編集を許可いただければ、より有効な活用ができる。
- ・ *文字が小さくて学生には見えにくい部分がある。
- ・ *説明が早すぎて理解が困難な所がある。特に留学生には理解できなかった所が、多々あった。
- ・ *画像がもう少し美しければなお良い。
- ・ *テキストは解り易く好評。
- ・ *利用法としては、あらかじめ設問を出してからVTRを見せ、終了後に回答させる方法が効果的と感じた。(171)
- ・ *ビデオ教材目録(簡単な説明付き)および印刷教材目録(簡単な説明付き)を高専に居られる全教室に配布し宣伝すること。
- ・ *ビデオ教材、印刷教材の購入方法、借出方法、値段などわかりやすい表を作り*と同様全教室に1年に2回くらい配布し宣伝すること。
- ・ *センターも各高専に1～2名の専門委員(名弥は何でも良い)をつくらせ、利用状況を把握したり連絡を密に出来るようシステムを作る事。(173)
- ・ 専門分野の範囲をもっと広げて欲しい。教材の作成手順または組織がどのようなになっているか、各高専またはその学科に周知しておくべきではなからうか。
作成→編集→利用という流れがわからない。(175)
- ・ 機械工学系のビデオが有りません。出来れば作製していただくと有難いと思います。(177)
- ・ *もっと多方面の教育用ビデオを作製してもらいたい。
- ・ *ビデオライブラリー(貸出し用)に関する情報を年1回でなく、2～3ヶ月ごとに流してほしい。

・*教育用のビデオの貸出し期間を長くして、視聴覚教育の普及を息長く続けていただきたい。
(180)

- ・センターより配付されたビデオ教材「半導体編」と平行して、NHKで昨年放映された「電子立国日本の自叙伝」の中の数編を授業中に学生に見せた。結果は予想どおりで、学生は特に後者の方に強い関心と興味を示した。その後「電子立国」に対する感想を書かせたが、半導体技術の発展の歴史を知ったことで、専門教科に対する興味が増したことやエンジニアとしての努力の尊さを深く感じたことが記してあった。確かにセンターのビデオの内容は、ビジュアルでわかりやすいものであったが、やはり教科書、専門書の映像に留まった感がある。補助教材としては充分と思われるが、学生達の興味をかき立てるものではなかったようである。(183)

- ・1. ビデオ教材を授業で使う場合、講師の語りの部分は unnecessary 場合が多い。実験部分だけを集録したものがあれば利用し易い。
- 2. 印刷教材には、ビデオ画面に出て来た図や表をそのまま掲載してほしい。
授業での説明がやりやすい。
ビデオ教材利用の結果をまとめた研究報告の印刷を添付しますので参考にさせていただければ幸いです。(185)

- ・1. ほしいビデオ教材
 - *「百聞は一見にしかず」最新、大規模、高速、精密な機械、設備等の紹介。(工場見学等では、説明不足、ブラック・ボックス的な内容等で理解し難い)
 - *動きのあるもの、変化するもの。(印刷教材では理解させ難い)
- 2. 現在各企業でPR用に作成されたものを利用編集するものも1つの方法。(186)
- ・1. 学習する科目に関連する最新の話題や研究開発テーマなども紹介し、学生が当科目の専門分野における位置付けや学習に対する動機づけが十分なされるような工夫がほしい。
- 2. 理論を十分理解させるために、実験やコンピューターグラフィックスを利用すると効果があると思う。(187)

- ・各教科毎にビデオ教材の作成が望ましい。(193)
- ・時代の先端のことより、基本的なこと、物理、数学、電磁気回路電子工学、物性等の法則等について授業のまとめとして、最後に画像でうったえるような教材があれば効果的あり、長く使用できると思います。割合NHKの講座の中でよいものは使用していますが、高専としてももう少し専門的なものがあつたらと思います。(194)

- ・*新技術分野のものが欲しい。
 - *生命科学シリーズ「DAN」を学生に見せたが、全く反応がなかった。理論的にこりすぎて興味を引かない。(195)
- ・放送教材が使用できる範囲が限定されており、もっと拡大してほしい。内容については一方的で、こちらからの要望を吸い上げてもらう機会が乏しかったので、こんごともアンケートなどで現場の意見要望も大いにくみ上げて欲しい。せっかくのビデオ教材をこちらで編集しなおす必要があると思うので、短い物を数多く出してその中から短期に利用できる物も欲し

- い。今後、尚一層の努力、発展を期待しています。(197)
- ・本校では放送されている番組の中から選択して録画し、図書館に保管しています。(ビデオライブラリとして) 図書館にはモニターが数台あり、学生は自由に見たいテープを借り出して、視聴できるようになっています。機械でもそのテープを使って授業の一助けている教官も居ます。Q13に回答したように、本教材は内容は良いのですがビデオとしての完成度に不満を感じます。もう少し学生が興味をもって見るように表現法を改善した方がよいと思います。現段階では学生の授業に使用するには不備な点があると考えます。(199)
 - ・ご紹介の教材のあること自体、当情報工学科に知っている教官がおりませんでした。今後、教材を開発制作されていくのであればそれらの内容を、カタログなどにまとめ積極的に紹介宣伝していくことが第1に望まれます。他校の利用状況も不明ですが、実績があれば、これを調査し有効な活用例などを知りたいと思います。とりあえず「半導体材料編」の内容をお知らせ下さい。授業に活用できるかどうか検討させていただきますたくお願い申し上げます。(200)
 - ・授業では、時間の制約などで取り上げることのできないもの、あるいは映像にうったえた方が効果的であるものなどをビデオ教材にまとめてみると、学生が自学自習したり、教室で全員に見せたりして、学習意欲を高め理解しやすくする。授業の項目の導入、学習の動機付けなどに役立つもの、たとえばフーリエ級数の指導では、物理現象からフーリエ級数の考えにたどりつくまでの過程を豊富な映像と解説によって構成するなど。(201)
 - ・センターで作られたビデオ、印刷教材の新しいリストを年に一回は、各工学科に送付していただきたい。又リストに付けて内容の概容を記したものも載けると有難いです。今まで少しPRが不足したように思われます。(202)
 - ・恐縮しつつ書くものでありますが、貴センターの紹介パンフやライブラリー、使用(利用)条件や方法についての情報が極めて不足していると思います。資料など、ご送付下されば幸でございます。なお、新素材シリーズのビデオは本校には送付されていないようであります。もし可能でありますればご送付願うものです。(203)
 - ・大変に申し訳ないことでございますが、私共の高専では貴センターからの送付ビデオのうち「新素材シリーズ」は見あたらないような現況であります。今後、電子工学科では関連のビデオを積極的に活用させていただきたいと存じます。関連学科へ直接お送りいただく方が確実であると存じますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。(204)
 - ・* 貴センターの活動報告、案内等の広報を確実に教官レベルまで伝達できるように活発に行って欲しい。
 - ・* 新素材関連のビデオ、科学と工学に関して單元ごとに(材料別、用途別)細かく分けて作製して欲しい。
 - ・* 卒研、実験、実習等で、すぐ役立つようなHow to ~版(計測、分析のし方)を望んでいます。
- (例) * SEMの操作と試料作製
- * 熱電対のしくみと応用
 - * ゲージについて

- ・*写真の現象、焼付け等。(206)
- ・先端技術の解説などなら見たいと思う。(208)
- ・アンケート調査に答えながら、改めてビデオ教材の利用について今後考えていく必要があると感じました。Q15に答えました内容で参考になる教材がありまたら、御紹介いただければと思います。私共の準備不足のためと思いますが、学生にビデオ教材を見せると学生がリラックスしてしまうような雰囲気になります。ビデオ教材を有効に利用している事例（研究報告）がありましたら、今後参考にしたいと思っております。(211)
- ・Q15にあるようなビデオ教材があるとよい。(212)
- ・*半導体は大変良くできていると思います。
 - *回路論??気等もわかりやすい形のものが出来たと思います。(215)
- ・*貴重な資料を提供いただき感謝いたします。
 - *授業の中への組み込み（効果的）と言う点では苦勞するところではありますが、利用を多くしていきたいと思っております。
 - *新技術（単品）についてもどんどんと作成されることを希望いたします。(216)
- ・当学科の材料関係を担当している教官の話によると、（2度ほど電話で新素材シリーズ「金属材料編」の問合せをしましたが、いまだに届いておりません。是非入手したいのですが……。）とのことでした。宜しくお願い致します。尚、工業化学科には届いている由です。(217)
- ・基礎的な教材も必要であるが「NHK電子立国日本の自叙伝」のように開発競争の実態などを描写したもので、学生達が次世代は俺達が頑張るぞという意気込をもたせるものがあつた方がよいと思う。(218)
- ・*時間配分が適当であり、また演習問題も入っているので非常に使い良い。
 - *印刷教材に若干のミスプリントがある。
 - *概論として使用する場合は、少しレベルが高い。
 - *多方面の分野の教材が欲しい。生化学に関連するものがあれば良い。(219)
- ・経験を生かして、今後より内容の充実したものを作成するようにさらに御努力下さい。(212)
- ・*限られた人材、資材、資金で教材を新たに作ろうとしても限度があると思う。故に、NHK、放送大学など利用できそうなものをリストアップ、それが利用できる様な方法手段を考える事をぜひお願いしたい。(例、NHK電子立国日本など立派なものが他にある)
- ・*もし高専共通教材研究班が主体となって、新たな物を製作するのであれば高専個有の課題（年令、学問や技術レベル）を前提に何を作ればよいか戦略的に考えていただきたい。私は、まず対象を低学年を主体に考えた基礎を最重点に取り組んでいただきたいと思っている。最先端の技術に関するものは学校主体では作れないと思う。
- ・*高専は高校、大学とも違い年令的にむつかしい時期の学生をかかえているのに生活指導的な面での教官のポテンシャルは高いとは思えない。特に新人教官（若年の教官、大学or大学院卒ですぐ教官になった人）への教育指導的なものも希望したい。(224)
- ・各種ビデオ教材を作成していただきたい。(227)
- ・*ビデオ教材（印刷教材も含む）の補助教材としての使用方法を検討し明示していただきたい。(具体的に)

＊利用方法とビデオ教材の内容等について

＊印刷教材は学校の授業のテキストとして使用する。

＊ビデオ教材の内容は演習や実験の内容を中心にする。印刷教材で教師が教えた範囲においてビデオ教材で演習をやる。

＊ビデオ教材は、各国学生が演習できる様に工夫する。

＊ビデオを見せ、演習を行なっている間、教師は順次巡回して指導、ディスカッションをする。(230)

- ・これまで、情報工学関連の教材がないこともあって、あまり関心を持っていませんでした。ビデオの方がよいもの、ビデオでなければできないものがあると思います。

教育課程、授業計画との関連で必ずしも利用できるとは限りませんが、適切なものがあればできるだけ利用させていただきたいと考えております。(232)

- ・最近、環境問題が重要視されています。大変、広範囲の問題を含んでいますが、環境教育をどう持っていくかが今後環境問題に対応していくために、大へん重要だと思われます。一方で教育する側の環境教育に対する準備が立遅れていて、人材と教材がほとんどありません。環境に関する教材を切願します。(235)

- ・本学科には、ビデオ上映装置が2システムあり、積極的に授業にビデオ教材を活用しています。貴開発センターでこれまでに開発された教材は情報工学科で教育している専門教育に余り関係がないので、利用していませんが、情報工学あるいはコンピュータに関連した教材が開発されれば積極的に利用したいと思います。従ってQ13の項に記入した科目の教材の開発を切に希望します。(236)

- ・一般科の教育目標は、学生の基礎知識、基礎学力を養成すると共に、広い視野を持つための教養の育成の2つである。専門のみに偏ることなく、広い分野でのビデオ教材の作成を望みたい。(241)

- ・＊Q12に関連して、バイリンガルなビデオ教材の開発をお願いしたい。

＊著作権の尊重については、十分理解していますが、広報用の学校紹介ビデオ（中学生へ借与）への引用が簡単な手続きで可能ならば有難い。

＊その他

「生命科学」教材は、学年進行（現在3年次）利用度が高まると思われます。(243)

- ・愛想の良い返答ができないのは「土木建築」関係の成果物を、拝見できていないためです。この方面で有益なものをお出し下されば、いくらでもご返答の仕方が出て来ます。悪しからず。(244)

- ・教材としての市販のビデオは高価なものが多い。それ故NHK放映のを録画して教材に使っている。なるべく多くのビデオを作って載き、貸出して欲しいと思います。(245)

- ・「情報と工学」を借用しています。内容的には都倉先生のわかりやすい説明で大変素晴らしいと考えています。しかし本校での年60Hの中では、例えば、プログラミング言語、電子計算機とそれぞれに同一時間を要している現状ですので大変集約されたビデオの内容を適当な時間に配分できないようです。また学生の質の問題にも関係しますが、興味ある学生と、そうでない学生が混在した場合に、ビデオ教材の利用は困難になります。「情報と工学」は、

真に興味ある学生にとって、大変良い教材です。そのため“情報処理技術試験”やその他の情報処理関連試験（国家試験、認定試験）の受験者のための補講教材として利用しています。（248）

- ・新技術対応のものを、どんどん作って欲しい。（内容的に古いものが多いので）（252）
- ・物理（高専3．4年の応用物理、大学の教養物理程度の内容）の教材で教室では見れない実験アニメ等の豊富に含まれたものを作っていただきたい。（253）
- ・＊Ｑ２の教材の目録が入手できれば幸いです。
 - ＊ビデオでしか見れないような内容、またはビデオを使用すると、非常に効果的だと思われるテーマを、テーマ毎に短かくまとめたものを作っていただくともっと使いやすくなるような気がします。（254）